

平成27年3月16日

イベント通知



まずは**3Dプリンター**等による**高付加価値なものづくりの研究開発**から！

阪大工学研究科と産技研が**研究連携協定**を締結

～関西発のものづくり産業における競争力の強化をめざす～

調印式：3月23日（月）16時30分～ 大阪大学吹田キャンパスにて実施

❖ 概要

大阪大学大学院工学研究科（以下、阪大〈工〉）と大阪府立産業技術総合研究所（以下、産技研）は、企業のものづくり支援を推進する上で、これまでも産業技術に係る共同研究やシーズの提供等に取り組んで参りました。このたび、さらに多岐にわたって連携し、密接な関係の下で研究開発等を進めていく目的で、研究連携協定を締結することといたしました。

これにあたり、下記のとおり調印式を執り行いますので、ぜひご取材いただきますようお願いいたします。

❖ 調印式概要 ※本調印式を取材いただける場合は、3月22日（日）までに、別紙取材申込書にて申込みください。

日時：3月23日（月）16時30分～17時30分

場所：大阪大学大学院工学研究科

GSEコモニー5階 会議室2（吹田キャンパス内）

調印式出席代表者：

- | | |
|----------------|------------|
| ・大阪大学大学院工学研究科 | 研究科長 掛下 知行 |
| ・大阪府立産業技術総合研究所 | 理事長 古寺 雅晴 |

当日の流れ：

- ・大阪大学大学院工学研究科長挨拶
- ・協定締結に至る背景紹介
- ・大阪府立産業技術総合研究所長挨拶
- ・協定書調印
- ・写真撮影
- ・報道機関各社との質疑応答



大阪大学大学院工学研究科

❖ 研究連携協定の内容

1. 協定の目的

相互の連携協力により、実用につながる学術研究の振興と研究成果の社会還元を図り、ものづくり産業の競争力の強化及び地域社会の発展に貢献することを目的とします。

2. 連携内容

- (1) 共同研究等の実施
- (2) 研究活動等に係る人的交流の促進
- (3) その他、両者が有益にして必要と認める事項の実施

3. 当面の主たる連携事業

- ・SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）革新的設計生産技術「三次元異方性カスタマイズ化設計・付加製造拠点の構築と地域実証」プロジェクトの実施（NEDOからの委託金：最初の2年間…6億7000万円）
- ・阪大〈工〉『異方性カスタム設計・AM（3Dプリンター）研究開発センター』への、産技研からの招へい教授等の受け入れによる人的交流、連携の強化
- ・共同での出版事業等によるものづくりに関する教育・啓蒙活動の実施

❖ 本協定締結の意義

日本のものづくり大国としての地位が低下し、製品のコモディティ化が進む中、阪大〈工〉と産技研が連携協定のものと、相互の研究力・教育力・技術力・広報力を活用し、大学、公設試としての中立的な立場からのものづくり支援を進め、関西経済の活性化に向けた中心的な取り組みの実施を行うものであり、**相互連携協力により、ものづくりの実用化につながる学術研究の振興と研究成果の社会還元を図ります。**

❖ 具体的な取り組み

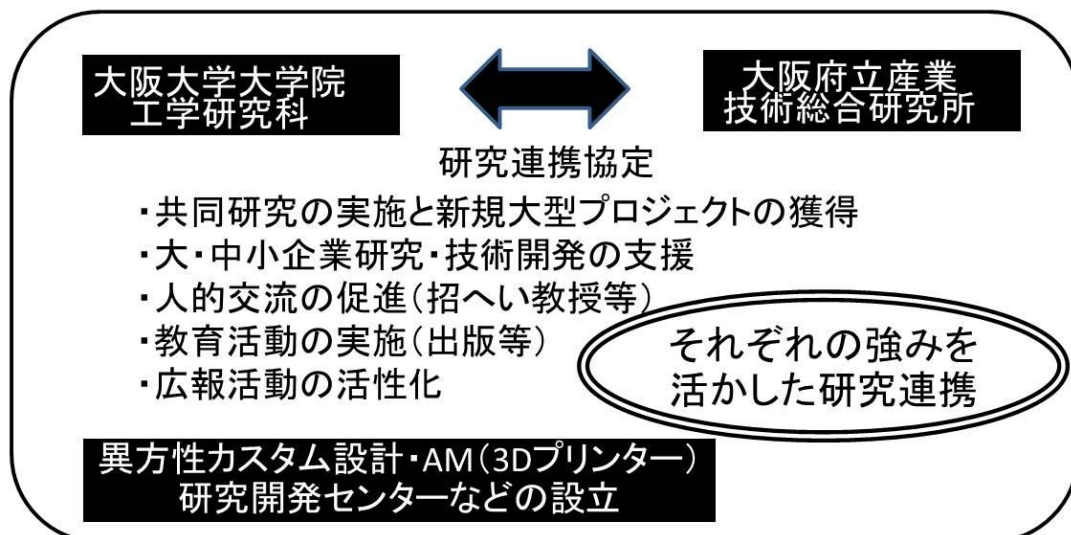
まずは、2014年10月2日に両機関を中心に採択された、内閣府主導(NEDOからの委託)のSIP(戦略的イノベーション創成プログラム)における「革新的設計生産技術(佐々木プログラムディレクター)」の中の研究開発である「三次元異方性カスタマイズ化設計・付加製造拠点の構築と地域実証」プロジェクトを中心に、**両機関の連携を一層強固なものとし**ます。次に、司令塔としての役割を担う阪大〈工〉設置の『異方性カスタム設計・AM(3Dプリンター)研究開発センター』への産技研からの招へい教授等の受け入れによる**人的交流**、および**共同出版事業等によるものづくりに関する教育・啓蒙活動を実施**します。さらに、SIPプロジェクトに限ることなく、両機関の強みを活かした分野において広くプロジェクトの立案等を行い、**地域経済の活性化とものづくり技術の基礎から応用までを網羅して**いきます。

最初に先導的役割をなすSIP「三次元異方性カスタマイズ化設計・付加製造拠点の構築と地域実証」プロジェクトの研究開発期間は最長5年間(平成30年度まで)です。NEDOからの委託金は最初の2年間で合計6億7000万円であり、**デライト最適化上流設計とAM等を含む最先端ものづくり技術を両輪に、高付加価値化のための材質・形状制御の同時確立、顧客起点の一気通貫モデルによる新ものづくり体制を地域実証**します。事業の骨格となる生体福祉、カスタム個電、航空エネルギー部品の異方性カスタム化を牽引企業が先導的に研究開発・実証するとともに、そのプロセスで企業、官学を織り交ぜた新市場獲得のための手法づくりと明確な出口事業の具現化を行います。

今後、両機関の有機的連携が基礎学術の構築から応用研究、製品化までを一気通貫的に推進し、これまで時には断片的に推進されてきたものづくりの研究開発を統括的に進めることを目指します。

*AMとは、Additive Manufacturing(付加製造)を示し、阪大〈工〉と産技研は金属をはじめとする造形装置他、複数のAM装置をそれぞれ保有しています。

「関西発のものづくり産業における競争力の強化」を目的とした 大阪大学大学院工学研究科と大阪府立産業技術総合研究所との研究連携



❖ 本件に関する問い合わせ先

大阪大学大学院工学研究科 教授 中野貴由

TEL 06-6879-7505

大阪府立産業技術総合研究所 マネージャー兼加工成形科長 山口勝己

TEL 0725-51-2561

《取材申込書》平成 27 年 3 月 23 日 (月) 阪大<工>・産技研 研究連携協定調印式

大阪大学工学研究科 総務課評価・広報係 行

F A X : 06-6879-7210

E-mail : kou-soumu-hyoukakouhou@office.osaka-u.ac.jp

ふりがな		
氏名		
所属名		
連絡先	電話	
	FAX	
	E-Mail	

❖ 会場案内

